

# 平成 29 年度 港南区元気な地域づくりフォーラム 開催報告

## 1 開催概要

- (1) 日時 平成 30 年 3 月 3 日(土曜日) 13 時 30 分～16 時 00 分
- (2) 会場 港南区民文化センター ひまわりの郷
- (3) 主催 港南区連合町内会長連絡協議会 港南区社会福祉協議会 港南区役所
- (4) 参加者 302 名 (28 年度：380 名 27 年度：406 名 26 年度：350 名 25 年度：352 名)



## 2 実施内容

- ◆ 開会あいさつ
- ◆ 29 年度の「協働による地域づくり」について
- ◆ 災害時の要援護者支援について

港南区連合町内会長連絡協議会 会長 藤田 誠治



### ◆ 地域の取組発表

#### (1)自治会町内会など地域の取組〈前半〉

マグネットシートやハンカチなど、身近な道具をツールに活用した他地区も取り入れやすい事例を紹介し、パネルディスカッションで取組の工夫や効果などを伺いました。

- ◇災害時における戸建て世帯の安否確認（港南台南自治会みなみ5丁目防災会）
- ◇マグネットシートでマンション内の安否確認（アークタワーズ自治会）
- ◇買物ツアーを通じた関係づくり（ひざり連自治会）



#### (2)小中学生によるグループ発表

区内 31 校の小・中学校の子どもたちが、誰もが住みたいと思えるまちづくりを進めるために様々な地域活動を行いました。今回は笹下中学校区グループが代表で成果を報告しました。

- ◇愛たくさんひまわりタウン～支えあい・あいさつ・知りあいの輪～  
笹下中学校区グループ（笹下中学校・上大岡小学校・日下小学校・南台小学校）



#### (3)学び舎ひまわり

今年度で5期目を迎えた学び舎ひまわりについて活動内容を報告しました。

- ◇平成 29 年度学び舎ひまわり活動報告（ひざり地区連合 武田 伸一氏）
- ◇学び舎ひまわり大交流会報告（笹下地区連合 岡田 正紀氏）



#### (4)自治会町内会など地域の取組〈後半〉

マップ作りや名簿作成など体制づくりを行っている事例について詳しく紹介いただき、インタビューにより進め方のポイントや苦労話を伺いました。  
また、災害時に支援が必要な方からも横浜市総合防災訓練の参加や地域とのつながりなどを紹介しました。

- ◇名簿作成による支援体制の構築（野庭団地第9住宅自治会サポート9）
- ◇災害時に支援が必要な方と地域とのつながり（港南区障害者団体連絡会）
- ◇地域防災活動の再構築～みんなで災害を乗り越えるために～（日野ヶ丘町内会）



これからもみんなで「協働による地域づくり」を進めていきましょう！



### ◆ 30 年度に向けて 港南区連合町内会長連絡協議会 藤田会長

#### ◇地域で取り組む主なテーマ

- ①防災・減災 ②見守り・支えあい ③地域の魅力づくりと担い手確保 ④健康づくり

#### ◇地域でつながりを強めるための取組方針

##### ①地域活動者どうしのコミュニケーションを充実させましょう！

- 地区ごとに自治会町内会を中心に様々な地域活動者が集い、それぞれの取組や課題について、意見や情報を交換する場を年 1 回以上開催し、地域の様々な取組をより一層充実させます。
- 地区定例会に活動団体の代表者が参加するなど団体間の協力・連携を促進します。
- 住民の理解と協力を促すためのPRや誰もが気軽に参加できる工夫を行っていきます。

##### ②一人ひとりができる範囲で参加し、向こう三軒両隣に「お互いさま」の関係を築き、身近な地域での取組を進めていきましょう！

- 中間期を迎える「第3期港南ひまわりプラン」をそれぞれの地区で前進させ、これからの地域をより良くする活動をさらに進めます。
- 超高齢社会を支えるため、地区連合町内会と地区社会福祉協議会などが連携を深め、一人ひとりの困りごとの解決に取り組む助け合いの活動(福祉ネットワークなど)を広げていきます。
- 小学生が安全に登下校できるよう「港南ひまわり83運動」を進めるなど、見守り・支えあいの輪を広げていきます。
- 防災・減災や見守り・支えあいの取組を通じて、単位自治会町内会を基盤とした協力・連携を進め、一人ひとりが自助・共助の大切さを共有・実践し、地域の特性を生かした災害時の要援護者支援や安否確認の取組など「災害から地域を守る仕組みづくり」を進めます。
- 各家庭で防災・減災について考え・話し合い、備えることができるよう「防災5箇条」の周知を徹底し、あわせて「携帯トイレパック」の普及を行います。
- 次の世代を担う子どもたちに豊かなふるさとを引き継ぐため、廃食用油のリサイクルや河川のクリーンアップなど、できることから環境活動に取り組んでいきます。

##### ③ 地域と行政などが一緒になってそれぞれの役割を考え共に取り組みましょう！

- 地域、区役所、区社協、地域ケアプラザなどがともに地域について学び合う場『学び舎ひまわり』を充実させ、連携を強化します。
- 区全体で地域づくりに関係する様々な団体の代表者が集い、それぞれの活動情報などを共有する場「協働による地域づくり推進協議会」を充実させ、さらなる協働による取組を進めていきます。

### 3 アンケート結果

(1) 回答数/回収率 142件/47% (28)142件/44% (27)105件/26% (26)124件/35% (25)196件/56%

(2) 項目別回答状況

#### ① 満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未回答
29年度	72(50.7%)	58(40.8%)		4(2.8%)	0(0%)	8(5.6%)
28年度	62(43.7%)	66(46.5%)		9(6.3%)	0(0%)	5(3.5%)
27年度	60(57.1%)	36(34.3%)		3(2.9%)	0(0%)	6(5.7%)
26年度	68(54.8%)	49(39.5%)		4(3.2%)	0(0%)	3(2.4%)
25年度	46(23.5%)	119(60.7%)	13(6.6%)	0(0.0%)	0(0%)	18(9.1%)

#### ② 開催時間の長さについて

短い : 0 (0%)      やや短い : 4 (2.8%)      ちょうど良い : 91 (64.1%)  
 やや長い : 39 (27.5%)      長い : 1 (0.7%)      未回答 : 7 (4.9%)

#### ③ 「協働による地域づくり」を充実させていくために、重要だと思うこと（3つまで選択）

※【 】内は昨年度の順位

1位 地域住民の理解と協力	124【2位】	4位 行政職員等の理解と協力	38【6位】
2位 地域活動の担い手（役員等）の確保	105【1位】	5位 活動資金の確保	20【4位】
3位 各種団体間の連携協力	68【3位】	5位 活動の場の確保	20【5位】

#### ④ 今後、フォーラムで聞いてみたい地域での取組事例のテーマ（3つまで選択）

※【 】内は昨年度の順位

1位 地域活動の担い手確保	60【1位】	6位 地域の活性化・イベント	32【7位】
2位 見守り・支えあい活動	55【2位】	8位 地域住民と障がい児・者との交流	21【9位】
3位 防災・減災	48【3位】	8位 災害時の要援護者に関する取組	21【10位】
4位 高齢者の居場所づくり	38【5位】	10位 健康づくり	17【8位】
5位 多世代交流活動	35【4位】	11位 防犯活動	16【12位】
6位 青少年育成・居場所づくり	32【6位】	12位 子育て支援	11【11位】

#### ⑤ 災害時要援護者支援に関することで、地域で取り組んでみたい、または、すでに取り組んでいる活動

- 住み良い町にするため各地域の方の発表は大変参考になりました。みんなで話し合い取り入れたい。
- 地区内の住居地図を毎年更新しています。その地図に空家、家族構成などを入れ、将来的には要援護者についても入れてみたいです。
- 災害時要援護者については自分の自治会ではまだ取り組んでいませんので、今日のお話を聞いて今後に役立てていきたいと思っています。
- 全世帯にアンケート実施。手上げ方式で見守りが必要な方、その方を支える方の把握のうえ、1対2の支え合いをマッチングさせ、いざという時に備えています。
- 要援護者について、対象を小学生のいる家庭も視野に入れていただきたい。両親ともに働いていると、日中に有事の時は、両親が子どもを助けに（探しに）行けません。子どもも地域で支えていくという視点を、もう少し持っていただきたいです。

○災害協力隊、要援護者ともに高齢化が進んでおります。お互いに助け合えるように日々町内隣近所のきずな作りが大切だと思います。

○小規模の地区、マンション棟など、全体の人数が把握できる所の活動と1000世帯以上ある地区の活動との差を実感しました。（当地区は大世帯なので実施しているが、全体に行き届いていません）

○安否確認は大事なことで、具体的にマグネットシートによる確認の事例が良かったです。

○災害時要援護者の名簿作成にあたって区役所と相談したい。

#### ⑥ 印象に残ったこと、感想やご意見など

○こどもフォーラムの取組発表は内容が素晴らしかった！！

○毎年フォーラムには参加していますが、年々発表にも工夫が見られ分かりやすくなっています。会場も階段が多くやや注意が必要ですが、大変見やすいものでした。

○障がい者の立場からのお話が聞けたのは良かったです。

○セッションごとに工夫があり、また休憩前の体操など、退屈させない進行でした。

○各地域の工夫をこらした活動を知り、とても勉強になりました。

○会全体の運営がスムーズで時間が長いのをあまり感じませんでした。発表方法にメリハリがあり、年々洗練されてきていますね。

○子供たちの発表がとても良く、頑張っている姿が頼もしく思えました。障がい者のことをもっと知りたいと思える内容で、これからの課題でもあると思います。

○各自治会町内会が災害時要援護者に関して苦労していることを感じました。うちの自治会では、個人情報保護法の関係でなかなか情報が上がってこないのが悩みです。

○全体を通して、まず「知ること」が大事で、それから「つながる」「支える」が必要だと感じた。各々の取組の発表が充実して、フォーラムの質が年々高くなっていると感じた。

